

3年間の計画

	目標	平成29年度(2017年度)	平成30年度(2018年度)	平成31年度(2019年度)
中学校ブロック保幼小中連携	自らが考え、自己表現ができる 当たり前のことを当たり前にできる	・小中連携担当者の教育内容部会の継続開催。 ・連携コーディネーターによる小学校訪問・参観・授業の実施。 ・学校事務の共同実施。 ・小中連携担当者会から、専門的な支援教育部会の設置。 ・小から中へ継続した道徳授業の実施。・部活動での連携 ・中学校ブロック合同授業研を年1回開催。 ・各学校で実施する校内授業研、参観等にお互いに参加し、交流する。	・小中連携担当者の教育内容部会の継続開催。 ・連携コーディネーターによる小学校訪問・参観・授業の実施。 ・学校事務の共同実施。 ・小中連携担当者会から、専門的な支援教育部会の設置。 ・小から中へ継続した道徳授業の実施。・部活動での連携 ・中学校ブロック合同授業研を年1回開催。 ・各学校で実施する校内授業研、参観等にお互いに参加し、交流する。	・小中連携担当者の教育内容部会の継続開催。 ・連携コーディネーターによる小学校訪問・参観・授業の実施。 ・学校事務の共同実施。 ・小中連携担当者会から、専門的な支援教育部会の設置。 ・小から中へ継続した道徳授業の実施。・部活動での連携 ・中学校ブロック合同授業研を年1回開催。 ・各学校で実施する校内授業研、参観等にお互いに参加し、交流する。
確かな学力の育成	思考力・表現力を高め 粘り強く解決に向かうことができる	①算数科の授業の工夫改善 ・問題解決学習に関する研究推進、研究授業の実施 ・指導法の統一 ・ノート指導についての交流・研究 ・少人数、習熟度別指導の工夫充実 ・毎日計算プリントの実施 ・思考力を高めるためのチャレンジプリントの実施 ・市教研算数部の診断テストから見えてきた課題に焦点をあてた授業実践の交流・研究。 ②コミュニケーション力の育成 ③読書活動の活性化 ・図書館支援員、図書ボランティアと連携した取り組み ④家庭学習の定着 ・生活ふり回りカードの実施による家庭への啓発。	①授業の工夫改善 ・算数科における問題解決型学習の実践 ・効果的なノート指導の研究 ・少人数、習熟度別指導の工夫充実 ・毎日計算プリントの実施 ・思考力を高めるためのチャレンジプリントの実施 ・市教研算数部の診断テストから見えてきた課題に焦点をあてた授業実践の交流・研究。 ・国語科における実践の交流 ②コミュニケーション力の育成 ・各教科における主体的・対話的な深い学びの指導実践の交流 ③読書活動の活性化 ・図書館支援員、図書ボランティアと連携した取り組み ④家庭学習の定着 ・生活ふり回りカードの活用	①授業の工夫改善 ・算数科における問題解決型学習の実践 ・効果的なノート指導の研究 ・少人数、習熟度別指導の工夫充実 ・毎日計算プリントの実施 ・思考力を高めるためのチャレンジプリントの実施 ・市教研算数部の診断テストから見えてきた課題に焦点をあてた授業実践の交流・研究。 ・国語科における実践の研究 ②コミュニケーション力の育成 ・主体的・対話的な深い学びの指導実践の交流・研究 ③読書活動の活性化 ・図書館支援員、図書ボランティアと連携した取り組み ④家庭学習の定着 ・生活ふり回りカードの活用
豊かな人間性を育む	豊かな人間性を育む 自分たちを大切に助ける	互いを認め合い、いきいきと活動できる児童の育成。個性を生かし、発見や気づきを大切にしたい人権教育。国際理解教育・平和学習・男女共生教育・ともに学び共に生きる教育	互いを認め合い、いきいきと活動できる児童の育成。個性を生かし、発見や気づきを大切にしたい人権教育。国際理解教育・平和学習・男女共生教育・ともに学び共に生きる教育	互いを認め合い、いきいきと活動できる児童の育成。個性を生かし、発見や気づきを大切にしたい人権教育。国際理解教育・平和学習・男女共生教育・ともに学び共に生きる教育
健康・体力の増進	運動する楽しさを味わい、自ら進んで運動に組むことができる	①体育の準備運動として茨木っ子運動、茨木っ子運動IIの活用。 ②マラソンカード、なわとびカードの配布・活用 ③体育委員が製作したなわとびDVDの活用。 ④授業におけるワークシートの活用の交流 ⑤全学年でスポーツテスト実施 ⑥系統的な水泳指導	①体育の準備運動として茨木っ子運動、茨木っ子運動IIの活用。 ②マラソンカード、なわとびカードの活用 ③体育委員が製作したなわとびDVDの活用。 ④ワークシートを使った効果的な実践の交流・研究 ⑤全学年でスポーツテスト実施 ⑥系統的な水泳指導	①体育の準備運動として茨木っ子運動、茨木っ子運動IIの活用。 ②マラソンカード、なわとびカードの活用、実践交流 ③体育委員が製作したなわとびDVDの活用。 ④ワークシートを使った効果的な実践の交流・研究 ⑤全学年でスポーツテスト実施 ⑥系統的な水泳指導
支援教育の充実				

2 今年度の結果と取組みについて

(1) 全国学力・学習状況調査

〇●国語●〇

国語A

(領域ごと)

①話すこと・聞くこと

概ね良好な結果であった

②書くこと

やや課題が残る結果であった

③読むこと

概ね良好な結果であった

④言語事項

概ね良好な結果であった

(問題形式)

①選択式

概ね良好な結果であった

②短答式

概ね良好な結果であった

(無解答率)

概ね良好な結果であった

(その他)

国語B

(領域ごと)

①話すこと・聞くこと

概ね良好な結果であった

②書くこと

概ね良好な結果であった

③読むこと

概ね良好な結果であった

(問題形式)

①選択式

概ね良好な結果であった

②短答式

やや課題が残る結果であった

③記述式

概ね良好な結果であった

(無解答率)

概ね良好な結果であった

(その他)

国語A

手紙の書き方について 手紙の書き方を学ぶ機会があっても日常生活で手紙を書く習慣がなく、定着できていないのではないかと。行事などの『お礼の手紙』を正しい形式で書くことを確認していくのが必要。

国語B

与えられた情報を自分の言葉でまとめるのが弱い。授業や課題で作文を書くときに文章構造などを押さえ、適切な指導を継続して行う。(添削指導を含め)。与えられた情報を分析し、まとめる力を付けるため『要旨をまとめる』『要約する』授業を丁寧にしていく。

〇●算数●〇

算数A

(領域ごと)

①数と計算

概ね良好な結果であった

②量と測定

概ね良好な結果であった

③図形

概ね良好な結果であった

④数量関係

良好な結果であった

(問題形式)

①選択式

良好な結果であった

②短答式

概ね良好な結果であった

(無解答率)

概ね良好な結果であった

(その他)

算数B

(領域ごと)

①数と計算

概ね良好な結果であった

②量と測定

やや課題が残る結果であった

③図形

概ね良好な結果であった

④数量関係

概ね良好な結果であった

(問題形式)

①選択式

概ね良好な結果であった

②短答式

概ね良好な結果であった

③記述式

概ね良好な結果であった

(無解答率)

概ね良好な結果であった

(その他)

計算など日常的に取り組んでいるのはよくできているが、あまり日常的に使わないもの(最小公倍数など)は反復練習が必要である。

問題を図に表すことができている。普段の授業の中で図に表して考えることを習慣化しているのでその効果が見られている。

チャレンジプリントに似た内容の問題はよくできている。たくさん問題を解き、解答方法を考える習慣ができつつある。

〇●経年比較●〇

全体的な傾向についての分析

本年度は、過去数年の中で、国語A・国語B・算数A・算数Bいずれも顕著な伸びが見られた。無解答率も減少傾向であるが、国語に関しては、全国平均より無解答率が高い。

学力高位層と学力低位層、エンパワー層についての分析

学力高位層(正答率80%以上)が増加傾向にある。また、学力低位層(正答率40%以下)は減少傾向にある。エンパワー層(正答率20%以下)もばらつきはあるが、比較的少ない。

〇●取組み●〇

学力向上に関する取組み

作文や手紙など、文章を書くことを定期的に行っていく。長く書くことが難しい児童には文章構成を教え、スモールステップで書く力を伸ばしていく。

算数のチャレンジテストが効果を上げているので、国語についても大阪府教育委員会作成のプリントなどを活用し、毎日の取組みを進めていく。

① 研究授業・研修会

- ・教科学習、支援教育、人権学習など各学年1回程度の研究授業と研究発表の実施

② 授業づくり

- ・授業改善の視点の明確化と学習ルールの確立→【白川小スタンダード わかる授業づくり編】の実施、定着
- ・教材、教具の工夫→ICT機器の活用等
- ・国語科の授業改善
- ・多様な意見交流の場の設定、共同学習の推進→主体的・対話的な深い学び
- ・分割授業、習熟度別授業の推進 ・個別指導と全体指導の両立
- ・体育授業の充実（運動量の確保と、技能を高め、楽しくて達成感を感じられる授業：体力向上プロジェクトとの連携）
- ・学年会の充実による授業研究の深化
- ・学習サポーターによる入り込みや個別支援の充実

③ 読書活動

- ・朝の10分間読書の実施
- ・読み聞かせボランティアによる読み聞かせの実施
- ・調べ読書の推進 ・家庭読書の推進

④ 算数活動

- ・朝ピカタイムの実施 算数の学習事項の定着をはかるための、反復プリント学習
- ・毎計(毎日の計算)など、効果の上がっているのは続けてしていく。

⑤ 白川タイムの実施

- ・国語、算数を中心とした補充・発展学習

⑥ 家庭学習

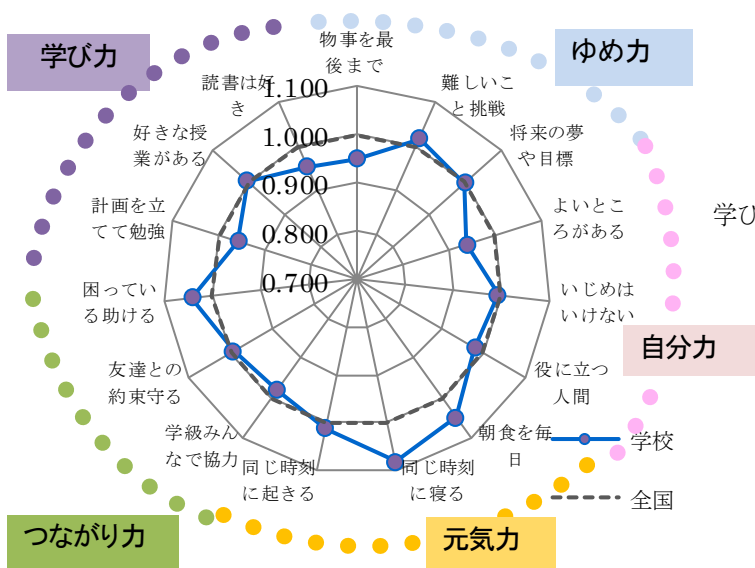
- ・【白川小スタンダード】版学校だよりの発行、生活振り返りカードの実施による家庭への啓発

⑦ 【白川スタンダード】の実施による生活規律、学習規律の確立

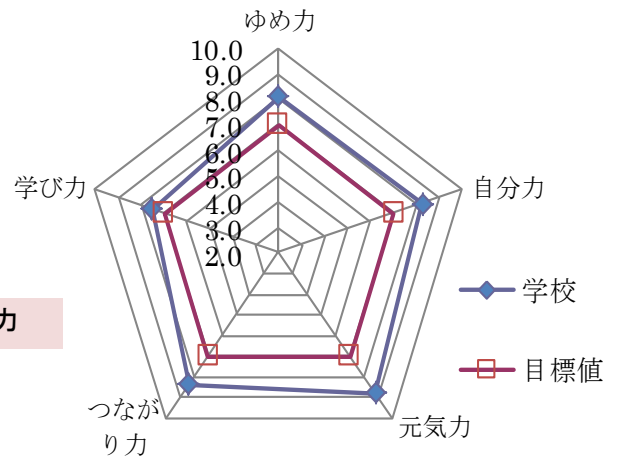
⑧意欲を喚起する授業、「楽しい! わくわくする、よくわかる」授業実践の迫及。

○●子どもたちに育みたい力●○

5つの力 全国平均との比較



5つの力 目標値との比較



分析

- ・年度ごとでバラつきがみられるが、全体的に概ね良好で向上傾向である。
- ・『ゆめ力』では、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか」という項目で少し全国を下回る。子どもたちの意欲をかきたててがんばりを認め、学校生活の中で自らの良さが認められるという場面をつくりだしていきたい。
- ・『自分力』では、「自分によいところがありますか」という項目に「当てはまる」と回答した児童は7割5分であった。学校生活の様々な場面で、児童一人ひとりのよさや頑張りを認め、自分に自信を持てるように指導を充実させたい。
- ・『つながり力』では、地域行事への参加の項目が今回もたいへん肯定的な回答であった。「学級みんなで協力する」の肯定度が全国と比べるとやや低く、まだまだ集団で物事をやり遂げることに少し課題の残る様子がうかがえる。
- ・『学び力』では、「読書は好きですか」の項目が、全国や大阪府と比較して低くなっている。その他の学習に関する意欲は高まってきており、読書量を増やす取組みの充実を図りながら、引き続き学ぶ楽しさを味わうことのできる学習活動を工夫・実践していきたい。
- ・『元気力』では、規則正しい生活がしっかりできていることがわかった。

取組み

<ゆめ力>

- 「自分もやってみたい」というあこがれにつながる、本物との出会いの機会の設定
- 4年生での「二分の一人成人式」で、成長を振り返り、自分の今後について考えさせる
- やり遂げた喜び、達成感を味わわせる取組み
 - ・児童会活動・運動会演技・応援団、校内音楽会、マラソン週間・大会、総合学習発表 等

<自分力>

- 『白川小スタンダード』の策定と浸透
 - ・生活面や学習面の学校全体の課題を明確にして、教職員の共通理解の下で支援する。

<つながり力>

- 一人ひとりの子どもたちのつながりをつくる取組み
 - ・教師が子ども一人ひとりのよさを知り、認め、学級全体に広める。
- 多様な意見交流の場の設定

<学び力>

- 楽しく魅力ある授業づくりに向けた校内研修の充実
- 支援教育の視点を踏まえた授業改善
 - ・めりはりのある授業展開（簡潔な指示、声の大きさ、速さ、板書計画 等）
 - ・学習意欲の喚起と継続（具体的活動・操作の活用、課題提示の工夫 等）・教材・教具の工夫（ICTの活用 等）

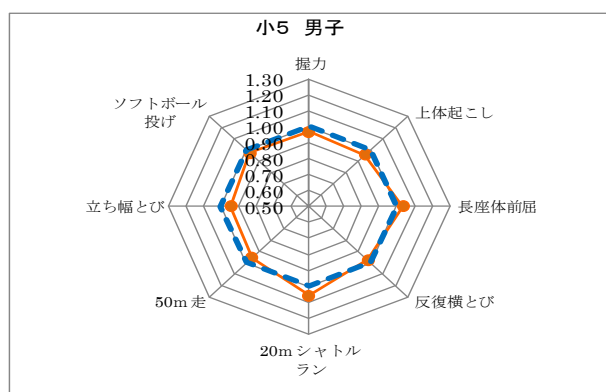
<元気力>

- 生活振り返り週間を学期1回行い、継続して規則正しい生活を送れるようにしていく。

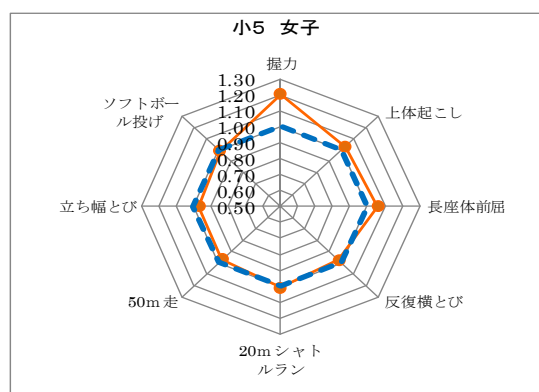
(2) 全国体力・運動能力、生活習慣調査

○●体力●○

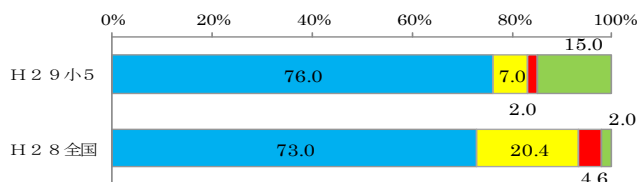
男子 (小5)



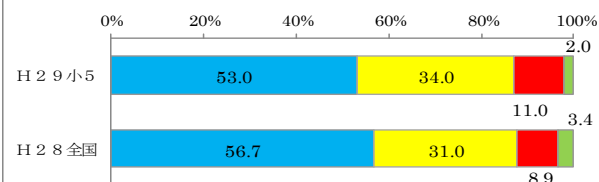
女子 (小5)



運動・スポーツが好きですか(小5男子)



運動・スポーツが好きですか(小5女子)



■好き ■やや好き ■ややきらい ■きらい

分析

- 男子は長座体前屈と20mシャトルラン以外は全国平均と比べて下回っている。女子は長座体前屈と上体起こし、握力が全国平均と比べて上回っている。特に握力は全国平均を大きく上回っている。
- 男女共に立ち幅跳び、反復横とびが全国平均を下回っている。瞬発力に課題があると考えられる。反復横とびのリズム、体重移動等のトレーニングを教えていくことも大切だと感じる。
- ソフトボール投げでは男子は積極的にボール遊びをしているが、それが結果につながっていない。女子はボール遊びをしているのをあまり見かけない。もっと、ボールを投げる機会を増やす必要がある。
- 本校では、特に高学年の児童が朝の時間に運動場を走る姿をよく見かける。また、社会体育の陸上、野球、バスケットボール、サッカーなど、スポーツクラブに入っている児童が多く在籍する。運動やスポーツが好きですか？というアンケートには、好き・やや好きと答えた割合が男子で93%、女子で87%ととても意欲的であるといえる。運動に対する積極的な姿勢や日常生活が、体力・運動能力の向上につながっていると考えられる。

取組み

①授業づくり

- 児童が主体的に運動に取り組む教材、場づくりの工夫
- 振り返りカード、達成カードの工夫、活用（自らのめあてに向けて学習）
- 体育館での授業の始めに、「茨木っ子運動」に取り組む（体育館専用プロジェクターの設置）
- 各学年における年間カリキュラム、評価基準の作成

②体育的行事

- 運動会、耐寒トレーニング・マラソン大会、連合水泳大会・連合運動会

③自ら体を動かす活動

- 朝の時間を使った、6年生の陸上競技自主トレーニングの奨励
- ジャンピングボードの設置・増設（なわとびの奨励）
- マラソンカード、なわとびカード、てつぼうカードの配布
- 放課後や土曜日の校庭開放